

「涙の谷を過ぎるときも」 旧約聖書・詩篇84篇より

最近グーグルマップのストリートビューで東北地方太平洋沿岸の震災前と震災後の映像を見ることが出来るようになりました。震災後の航空写真も見ることができます。9ヶ月過ぎた今も、涙の谷を通っておられる方々のことを覚えて、この詩篇を共に味わいたいと思います。

指揮者のために。ギテトの調べに合わせて。コラの子たちの賛歌

- 1 万軍の主。あなたのお住まいはなんと、慕わしいことでしょう。
- 2 私のたましいは、主の大庭を恋い慕って絶え入るばかりです。
私の心も、身も、生ける神に喜びの歌を歌います。
- 3 雀さえも、住みかを見つけました。
つばめも、ひなを入れる巣、あなたの祭壇を見つけました。
万軍の主。私の王、私の神よ。
- 4 なんと幸いなことでしょう。
あなたの家に住む人たちは。
彼らは、いつも、あなたをほめたたえています。セラ
- 5 なんと幸いなことでしょう。
その力が、あなたにあり、その心の中にシオンへの大路のある人は。
- 6 **彼らは涙の谷を過ぎるときも、そこを泉のわく所とします。**
初めの雨もまたそこを祝福でおおいます。
- 7 彼らは、力から力へと進み、シオンにおいて、神の御前に現れます。
- 8 万軍の神、主よ。私の祈りを聞いてください。
ヤコブの神よ。耳を傾けてください。セラ
- 9 神よ。われらの盾をご覧ください。
あなたに油そそがれた者の顔に目を注いでください。
- 10 まことに、あなたの大庭にいる一日は千日にまさります。
私は悪の天幕に住むよりはむしろ神の宮の門口に立ちたいのです。
- 11 まことに、神なる主は太陽です。盾です。
主は恵みと栄光を授け、
正しく歩く者たちに、良いものを拒まれません。
- 12 万軍の主よ。
なんと幸いなことでしょう。あなたに信頼するその人は。